

### 3) 発見経過から見たがんの罹患

全部位の発見経緯を見ると、「その他・不明」で発見された割合（57.9%）が圧倒的に高く、「他疾患の経過観察中」（30.9%）、がん検診（6.1%）、健診人間ドック（5.0%）を合わせてもそれに満たなかった。

女性では、乳がんと子宮頸がんについて、がん検診（24.2%、22.5%）での発見が、「他疾患の経過観察中」での発見（8.5%、10.8%）よりも多かった。

男性では、前立腺がんについて、がん検診（17.1%）での発見が、他部位のがんよりも割合が高かった。

\*表4-A参照

